

板倉正直市長 所信表明

市民目線で新しいまちづくり



▲平成 24 年第 3 回印西市議会定例会(9 月 4 日)で、所信を表明する板倉市長

から賛同を得たものと認識し、組合を構成する白井市、栄町と協議しつつ、計画撤回にむけ、努力いたします。

急がれる

二次救急病院の整備

第 2 に、緊急案件として市内に二次救急病院をつくる必要があります。

平均 44 分、という長い救急搬送時間は、速やかに短縮しなければなりません。市民の安全・安心に関わる大きな問題です。

昨年度、千葉県から病床配分を受け、二次救急を計画している医療機関に対しては、計画どおり救急医療に対応する施設の整備を進めるよう、市としても強く要望してまいります。

北総線の運賃値下げと

買い物問題対策

第 3 に、北総線・買い物の問題があります。

北総線の高額運賃が改善されない限り、市の発展は望めません。今以上に、積極的に鉄道事業者や国・県に働きかける

必要があります。印西市は、北総鉄道株式会社の株主ですので、同じく株主の千葉県をはじめ沿線市とも連携し、運賃値下げのため積極的に行動してまいります。

買い物問題については、高花、西の原、いには野、滝野地区などからの商業者撤退により、近隣住民の多くが不満を持っています。また、既存地区でも、車を運転しない人たちが買い物に不便を感じていますので、これらのみなさんを救済するための対策を講ずるとともに、併せて、市内公共交通の充実にも取り組んでまいりたいと考えております。

子育て先進都市へむけての

子育て支援

第 4 に、印西市は、子育て支援・教育に一層、力を入れていきます。

保育の現状において、保育園待機児童の解消、学童クラブの新設、学童保育の適正規模維持という課題があります。次世代の育成のためこれらの問題を解消するには、思い切った予算の投入が必要です。

また、小学校プール開放の再開、幼稚園、保育園の保育室・小中学校の一般教室の冷房化、私立幼稚園への補助など、子育て支援・教育政策には、早急に

着手していく考えでございます。放射能の除染については、子どもたちの健康を守るため、優先して引き続き実施してまいります。

地域経済の振興と自然や文化財の保護の推進

第 5 に、地域経済の振興、そして、自然や文化財の保護があります。

J A 西印旛などと協力しつつ、特色ある農産品をつくったり、販路を拡大したりするなど、農業振興に力を注いでまいりたいと考えております。

自然や文化財の保護については、市が立地する豊かな自然環境や、これまで、はぐくんできた歴史、伝統を大切にしていきたいと考えております。そのためにも、地域経済を振興させ、地域の自然、そして地域の文化を守っていく政策を立案し実施

したいと考えております。このほか、千葉ニュータウン事業については、その収束を踏まえ U R 都市再生機構と是非々で交渉を進めるとともに、地元業者が育つ仕組みを考えてまいります。

また、印西の地で、長期間にわたって歴史と文化を背負い地域に根ざした生活してきた高齢者を支え、地域社会の中で、高齢者の出番を増やし、世代を超えた交流が行われるような政策も考えていかなければなりません。

これらの課題を解消・解決し「新しい印西市」をつくるために、わたしは、市民の声にしっかりと耳を傾け、汗をかき、懸命に努力し、とことん市民目線で各施策に取り組みますので、市民のみなさんのご協力をお願い申し上げます。

わたしの政治理念は、市民みなさんからいただく貴重な税金を無駄遣いせず、子育て・福祉・教育など市民のみなさんのための施策に還元することです。

そして、市民のみなさんが誇りを持ち、豊かに暮らすことができる印西市をつくることです。そのためには、市民の声にしっかりと耳を傾け「市民目線」を市政の基本として、各施策に取り組んでまいります。

なお、選挙公約にも掲げました次の五つの課題について、迅速に取り組みたいと考えており

7 月の印西市長選挙で初当選し、同月 28 日に就任した板倉正直市長。

「新しい印西市」をつくるため、「チェンジ」をキーワードに、自らの公約に沿ってさまざまな施策を推進していきます。

ごみ焼却場の再検討

第 1 に、印西市は、印西地区環境整備事業組合の構成員として、ごみ焼却場の 9 住区への移転計画を白紙撤回することを提案してまいります。

多額の予算をかけ新たにごみ焼却場を建設する前に、徹底してごみを減量し、そのうえで、どの程度の規模のごみ焼却場がいつ必要で、それはどこに建設するべきなのかを再検討してまいります。

市長選挙で、多くのみなさん



▲拍手で出迎えられる初登庁(7 月 30 日)

民有地の除染受け付けを 10 月から開始

市では、民有地における戸建て住宅などの除染受け付けを、10 月から開始するため準備を進めています。

詳しくは、『広報いんざい』10 月 1 日号でお知らせします。
環境保全課放射線対策室(☎内線 366368)。

還付金・振り込め詐欺に注意!

【還付金詐欺】
最近、社会保険庁や保健センターの職員を名乗り「保険証が発行できない」「還付が発生しました。」などと言い、ATM(自動現金預け払い機)を操作させ、多額のお金を振り込ませる「**還付金詐欺**」の電話が多数かかっていますので注意してください。

公共機関(国・県・市など)からの還付、または各種手続きに際して、ATM の操作を指示する事はありません。絶対に指示に従わないようにしてください。

【振り込め金詐欺】
息子や孫を装って「携帯電話の番号が変わった」などとあらかじめその電話番号を知らせておき、後日「〇〇で急にお金が必要になった」旨の電話をかけてくる「**振り込め詐欺**」も発生していますので注意してください。

不審な電話などがありましたらすぐに印西警察署・生活安全課(☎42 0110)に連絡してください。